

経済学部A方式 I 日程・社会学部A方式 I 日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～35
世 界 史	36～53	地 理	54～64
数 学	66～71		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

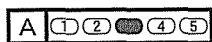
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

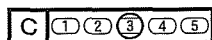
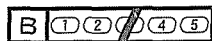
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔Ⅰ〕 南アメリカに関するつぎの文章を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。

大陸の西部には、 かにまたがる、新期造山帯の長大なる 山脈が走り、大陸の北部と東部には安定陸塊の 高地や 高原がある。その周辺には、ベネズエラを貫流し大西洋に注ぐ 川、世界最大の流域面積をもつ 川、アルゼンチンとウルグアイの国境をなす 川などが流れる低平な平野が広がる。

高地と 高原の間に広がる 川流域の広大な盆地には、 と呼ばれる生物種の多様性に富む熱帯雨林がみられる。

の周辺には熱帯草原が広がり、それは、 高原では、 川流域では と呼ばれている。大陸の南部では温帯草原の が分布し、肥沃な穀倉地帯となっている。一方、アルゼンチン・チリ両国の南部地域を指す では乾燥した大地が広がる。また、沖合を寒流が流れるチリの北部には 砂漠がある。

問1 文中の空欄 ～ それぞれに該当する語を記せ。

問2 文中の空欄 に当てはまる数値をつぎのa～dの中から一つ選べ。

a 3 b 5 c 7 d 9

問3 文中の空欄 ～ それぞれに該当する植生を記せ。

問4 文中の空欄 に該当する地域名と、 に該当する砂漠の名称をそれぞれ記せ。

問5 つぎの文章は、この地域の農産物について述べたものである。文中の空欄 ～ それぞれに該当する農産物を記せ。なお、生産量は2016年時点の数値である(出典：『2019 データブック オブ・ザ・ワールド』)。

ブラジルの主要な農産物は や であり、 は食用だけでなく自動車の燃料にも用いられる。また、コロンビアの の生産量は世界第3位を占める。近年、ブラジルやアルゼンチンでは、世界的な需要の増加により、 の栽培面積が増加しており、その生産量はブラジルが世界第2位、アルゼンチンが世界第3位を占める。

地理

〔Ⅱ〕 つぎの文章は、8つの国の地理的条件と国際移住者について述べたものである。

各文を読み、以下の問いに答えよ。解答はすべて解答用紙に記せ。なお、文中の国際移住者の数や総人口に対する比率は2017年の数値である。(出典：『世界国勢図会2018/19』79～80頁*)

*このデータは、国連経済社会局“Trends in International Migrant Stock: The 2017 Revision”にもとづいて作成されたもので、「国際移住者数」とは、基本的に「外国生まれの人口」を意味する。

A 国土面積の割には変化に富む地形と気候条件に恵まれたこの国は、先進的な
① 観光産業と農牧業はもとより国際企業や国際金融の中心地として、またいくつ
かの国際機関の所在地としても重要な役割を果たしている。州の自治権が強い
連邦国家としても知られ、言語と宗教の多様性を尊重し、4つの言語が公用語
とされ、街の看板から出版物まで多言語が日常化している。そのため、全人口
の29.6%を占める国際移住者にとって暮らしやすい国だと言えるが、近年は規
制を強める動きも見られる。

B 年間を通して高温多湿な気候で四方を海に囲まれ、古くから中継貿易で栄え
たこの国にはこの地域を代表するハブ空港があり、国際金融と情報関連産業の
中心として発展している。この国の国際移住者率は46%で、総人口の半数近く
を占めている。人口のおよそ4分の3は に出自をもつ人々だが、残
りのおよそ4分の1は全長約800kmにおよぶ国際海峡の対岸の隣国である
 の多数を占める 系民族や に出自を持つ人々で
ある。

C 中央には楕状地の大平原，東に広大な半島が突出し，西に急峻で長大な山岳地帯を有し，南に肥沃な丘陵地帯が広がるこの国では， を独立に導いたのと同じ出自の人々と に出自を持つ人々との間の対立を解消し，先住民との共存をはかるために，1970年代から多文化社会の形成をめざしてきた。そのため，国際移住者は今でも増え続けていて，全人口の21.5%を占めている。二つの公用語が認められているが， に出自を持つ人々が多数を占める地域で1995年に行われた住民投票では，その地域の分離独立を主張する人々の票数がそれに反対する人々の票数に迫る結果になったこともある。先住民には，1999年に全領土の5分の1に相当する面積を持つ自治州の設立も認められ，そこでは先住民の言葉も公用語に加えられた。

D 地形的には西に高く東に緩く傾斜する卓状地に，気候的には亜熱帯高圧帯に位置しているこの国は，豊富な資源から得られる巨額な外貨収入によって，労働力の多くを外国人に依存してきた。その結果，この国の国際移住者率は近年でも37%と高い水準に達している。この国の国際移住者の出身国は，最も多いのが で，次に多いのが と である。この国の政治と司法は宗教と一体であり，国際移住者も同じ宗教を信仰する人々が多数を占めている。この国には，本来は定住しない生活を続けてきた に代表される伝統的な移動民族も暮らしているが，彼らの中でも近年は都市に定住する人々が増えている。(ただし，この国の「国際移住者」とは，「外国人」を意味する。)

地理

- E 二つの海に挟まれ国境には山岳地帯もあるが、北部や西部には肥沃な土壤の平地や丘陵地が広がり、海流などの影響により国土のほとんどが温帯気候に属するため、この地域で最大の農業国として知られるこの国では、20世紀後半から積極的に国際移住者を受け入れ、かつて植民地として支配していた地域から流入し定住した人々が増えている^③、国際移住者は全人口の12.2%を占めている。旧植民地の一部には、本土から大洋を隔てた遥かに遠い海外県として現在も統治下に置かれているところもある。失業率が10%の水準にあり、国際移住者の多くは安定した職業に就くことが困難で、それが社会不安のひとつの温床になっているとも言われ、国際移住者が関与する事件が起こるたびに、彼らを排斥する勢力も台頭している。
- F 急峻な山岳地帯と二つの水系から成る大沖積平野および安定陸塊を代表する広大な高原に地形を大別でき、地域によって気候も変化に富むこの国に住む国際移住者率は0.4%と著しく低いが、反対にこの国から諸外国への国際移住者数は1658万8000人と世界最多である。移民送出の歴史は長く、1980年代までは農業労働者、工場労働者など総じて低所得労働力として諸外国に移住する人々が多数を占めていたが、1990年代からは、情報関連技術を主とする先端産業の分野で活躍する高度な人材の供給源となり、そのような人々の中には、移住先から帰国して情報産業を起業する動きも見られるようになっている^④。
- G 国土は狭いが、緯度の割に全土が温帯気候に属するため集約的な農業の先進国^⑤であり、それと同時に高度な工業化も達成したこの国の生活水準は高く、社会保障も完備している。国際移住者を積極的に受け入れ、彼らの宗教教育の自由が保障され、1983年の憲法改正によって地方参政権も彼らに与えられた。そのため、この国は今でも全人口の12.1%を占める国際移住者には大いに魅力的な国である。しかし、近年は、周辺諸国と同様、移民への規制を強化し排除しようとする傾向が強まっている。

H 北に海、南に山岳地帯、その間に平原と丘陵地帯が広がり、いくつかの国際河川が流れるこの国の国際移住者は今でも増加していて、全人口の14.8%を占めている。そのうち最大多数を占めるのはこの国の東の (キ) からの移住者であり、次いで多いのが (ク) からの移住者である。この国では1960年代から外国人労働者を積極的に受け入れ、1970年代に好況になって賃金水準が上がるにつれて (ク) からの移住者が急増し、1990年以降は、(キ) 人が (ク) 人を凌ぐ勢いで増えている。しかし、近年は賃金格差や教育問題あるいは宗教的差別が顕在化し、この国の多文化主義政策にも翳りが見え始めている。

問1 AからHの説明文に該当する国名を解答欄に記せ。国名は正式名称でなくてもよい。

問2 (ア) ～ (ク) に該当する国名をつぎのa～xの中から選び、その記号を解答欄に記せ。ただし、同じ記号の空欄には同じ国名が入るものとする。

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|
| a | アフガニスタン | b | アメリカ | c | インドネシア |
| d | イギリス | e | インド | f | オーストラリア |
| g | キューバ | h | ギリシャ | i | シリア |
| j | スリランカ | k | 台湾 | l | 中国 |
| m | トルコ | n | ドイツ | o | ハンガリー |
| p | パキスタン | q | バングラデシュ | r | フランス |
| s | ブラジル | t | ポーランド | u | マレーシア |
| v | メキシコ | w | ルーマニア | x | ロシア |

問3 (1) と (2) の民族名を解答欄に記せ。

問4 下線部①の急峻な山脈の北麓に吹き降ろす高温で乾燥した雪解けをもたらす風に由来する、わが国でもしばしば起こる気象現象の名称を解答欄に記せ。

地理

問5 下線部②に該当する州の名称を解答欄に記せ。

問6 下線部③のこの国が「かつて植民地として支配していた地域」の中で、激しい戦乱を経て1962年に独立し、現在もこの国で暮らす国際移住者の最大多数の送出地となっている国はどこか、国名を解答欄に記せ。国名は正式名称でなくてもよい。

問7 下線部④の拠点となっている、高原の避暑地としても有名な都市名を解答欄に記せ。

問8 下線部⑤の「国土」の狭さを克服するために、この国で13世紀から造成された土地をその国では何と呼ぶか、解答欄に記せ。

問9 下線部⑥のようにこの国の経済成長期に労働力として歓迎された人々を、この国では何と呼んだか、解答欄に記せ。

問10 現代日本の国際移住者の受け入れの動向には、上記の各国と比べてどのような特徴があるか。100字以内で論述せよ。

地理

- 問1 以下の i ~vi の文章のうち、図1 から判読できる事項について正しく説明しているものには○を、正しくないものには×を、それぞれ解答用紙に記せ。
- i 南東部と北西部にある2つの火山が接合して北西～南東方向に長い一つの島になっている。
 - ii 本地域における緯度1分(角度)の弧長を1852メートルとすると、この島の南北幅は、およそ12キロメートルと算出される。
 - iii 南東の火山は北西の火山にくらべて侵食が進んでおり、北西の火山よりも最近まで噴火活動が続いていたことが推測される。
 - iv 山の影が北東に伸びており、この島の北側の気候は寒帯に属していると判断される。
 - v 北緯33度9分付近の火山は円錐形をしており、同様の火山地形として、ハワイ島にあるマウナ・ロア山があげられる。
 - vi 山腹の斜面にひだ模様があることから、この火山島を作ったのは流動性に富む玄武岩質の溶岩であったと推測される。

問2 次の空欄 ～ それぞれにもっとも適する語句を、以下のア～トの中からそれぞれ一つずつ選んで解答欄に記号で記せ。また、空欄 ～ それぞれにもっとも適する数値を解答欄に記せ。

図1の範囲を図2の平面に描くにあたり、図3に示す「ユニバーサル横メルカトル(UTM)図法」が用いられている。通常メルカトル図法が、地軸方向に立てた円筒に地球を投影しているのに対して、UTM図法は、 方向に倒した円筒に投影している。UTM図法であれメルカトル図法であれ、どれも 図法であり、地図上の と が直交する。UTM図法は、地球を6度ごとの緯線で区切って全部で のゾーンに分割し、そのゾーンごとに投影する。このため、比較的狭い範囲では、形や面積がほぼ正確に描画されるという利点がある。日本では、国土地理院発行の縮尺1万分の1から 分の1までの地形図にUTM図法が使用されている。

図2の縦横格子はそれぞれ等間隔に区切られており、枠外に記された数値より、その間隔は縦横ともに 秒(角度)であることが読み取れる。また、図2をよく見ると、各マス目は正方形ではなく若干縦に伸びている。これは、UTM図法で作成された地図上では、同じ秒(角度)あたりの の長さが高緯度ほど なるためである。もし図2の投影に用いたのと同じゾーンで、より北方の地域をUTM図法で描いたとしたら、マス目の形状は になる。

地理

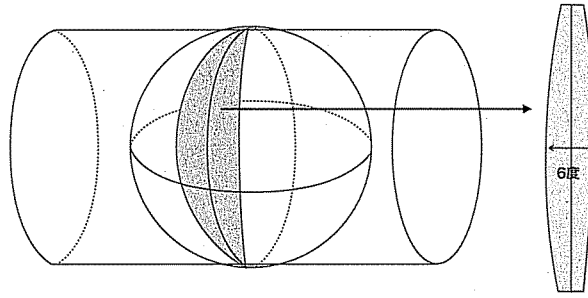


図3

- | | | | |
|------|--------|--------|--------|
| ア 緯線 | イ 緯度 | ウ 円錐 | エ 温帯 |
| オ 経線 | カ 経度 | キ 高緯度 | ク 正角 |
| ケ 正積 | コ 公転 | サ 低緯度 | シ 東西 |
| ス 長く | セ 南極点 | ソ 南北 | タ 北極点 |
| チ 短く | ツ より単純 | テ より横長 | ト より縦長 |

問3 図2に配列してある数値は、それぞれのマス目の中心の標高値(m)である。それらの値に基づいて、海岸線および標高200メートルごとの等高線を、解答用紙裏面の図上に描画せよ。なお、描画にあたっては、図4に示す例にならうこと。

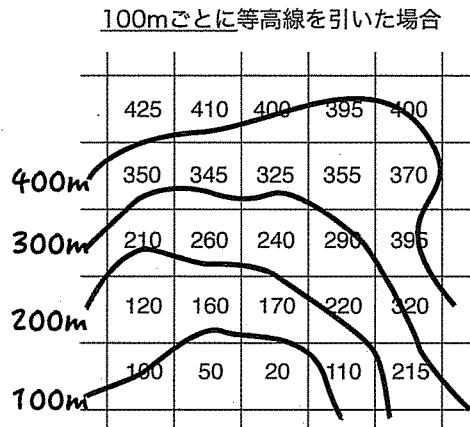


図4 等高線の描画例

(白 紙)